

株主メモ

事業年度	毎年2月21日から翌年2月20日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会・期末配当金／毎年2月20日 中間配当金／毎年8月20日
公告方法	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 電子公告により行ないます。 http://www.palemo.co.jp/ ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

以前は、旧株式会社鈴丹の株主様の特別口座に関するご照会先は、三菱UFJ信託銀行株式会社でしたが、三井住友信託銀行株式会社に変わりました。

株主名簿管理人
名古屋市中区栄三丁目15番33号
事務取扱場所
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先
☎ 0120-782-031

株主優待

株主の皆様方のご支援に対する感謝の印といたしまして、毎年2月20日現在の株主名簿に記載された300株以上保有の株主の皆様方に対し、下記のとおり株主様ご優待品を進呈いたしております。



300株以上	1,000株未満	1,000円のクオカード
1,000株以上		3,000円相当のカタログギフト

愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録



登録年月日 平成20年2月15日

登録番号 C0024

仕事と生活の調和のとれた働き方ができる職場環境づくりに取り組む
愛知県ファミリー・フレンドリー企業として登録いたしました。

PALEMO

上場株式等の配当等に係る10%（所得税7%、住民税3%）
軽減税率の廃止について

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率（所得税7%、住民税3%）は廃止され、本来の税率である20%（所得税15%、住民税5%）となりました。
これにより、2014年1月1日から2037年12月31日までは「復興特別所得税」を含め20.315%の源泉徴収税率が適用されます。

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記電話照会先までご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。
[主な支払調書]
*配当金に関する支払調書
*単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書
マイナンバーの利用範囲には株式の税務関係手続きも含まれます。
株主様は、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届けください。

PALEMO CO.,LTD.

第32期 第2四半期報告書
[2016.2.21.～2016.8.20.]

～Doing it～

皆様の豊かさ・成長・満足の実現のために

永続的安定成長に向け、 更なる飛躍に繋げてまいります。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また、このたびの熊本地震により被災されました皆様にお見舞い申し上げますとともに、被災地の一刻も早い復興を心よりお祈りいたします。

さて、当社第32期第2四半期報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

この第32期第2四半期累計期間におけるわが国経済は、円高の進行や株価低迷により企業収益の改善が鈍化していることに加え、英国のEU離脱をはじめ海外経済の不確実性が高まるなど、総じて足踏み状態が続きました。また、社会保険料負担の増加などを背景に個人消費の伸び悩みも長期化するなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社が属する専門店業界は、海外企業の国内市場進出や販売チャネルの多様化に伴い経営環境は大きく変化している一方で、深刻な人手不足が常態化するなど厳しい環境で推移しました。

こうした中において、当社は前期に引き続き「MD（マーチャンダイジング）変革」「サービス変革」における諸施策を通じて基幹事業の収益性と商品効率の改善を図るとともに、不採算店舗の閉店を進めてまいりました。その一方で、今後の成長を担う新規ブランドの開発にも着手しており、既存ブランドからの転換による店舗の活性化にも努めてまいりました。

これらの結果、不採算店舗の閉店の影響等から減収となりましたが、営業利益ならびに四半期純利益については期初計画数値を上回る実績となりました。

下半期におきましては、上半期諸施策の精度を高め、新規出店による収益拡大を図るとともに、中期目標に掲

げた当期純利益の黒字化実現に努めてまいります。そして「事業構造改革」の3rdステージにあたる来期の増益に向け、全事業部が安定した収益基盤を構築できるよう取り組んでまいります。

今後も当社におきましては、様々な施策において全従業員の力を集結し業績の回復に努め、この上半期の良い流れを来期に向け、更なる飛躍へと繋げてまいります。また、企業の社会的使命を重視いたしまして、企業統治ならびにコンプライアンス体制の強化など、企業の質的向上にも努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご高配を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

新たな経営体制により、 株主価値向上に努めてまいります。

この度のユニーグループ・ホールディングス株式会社と株式会社ファミリーマートの経営統合に伴い、フェニックス・キャピタルグループを買付者とする当社普通株式の公開買付けが実施されました。これは当社株式のJASDAQ（スタンダード）市場における上場の維持、更には当社の独自性を保った形での親会社異動であり、公開買付け成立後においては当社の親会社となります。

当社は新たなパートナーとともに「事業構造改革」を進め、永続的安定成長の実現という大きな目標を共有し、独自の経営体制で再スタートを図ってまいります。

代表取締役社長 吉田 馨

指針

正しい経営
安定成長

ローコスト経営
人財経営



Q.1

当第2四半期累計
期間の業績について
お聞かせください。

当第2四半期累計期間の業績は、売上高130億64百万円（前年同期比10.3%減）、営業利益5億92百万円（前年同期比131.9%増）、経常利益6億3百万円（前年同期比118.3%増）、四半期純利益3億63百万円（前年同期比410.1%増）となりました。

当第2四半期累計期間の業績につきましては、前期よりアパレル事業をレギュラー事業部とラージサイズ事業部の2事業部体制に変更した結果、品揃えの最適化、シーズン在庫コントロールの精度が向上したことにより店頭の商品鮮度が改善し、お客様のニーズに沿った提案ができました。また、第1四半期の春休みやゴールデンウィーク期間中の天候に恵まれたことや、第2四半期以降は猛暑の後押しもありシーズン商品が好調に推移したことから既存店売上高前年同期比は104.1%と計画を上回る結果となりました。

利益面におきましては、アパレル事業を中心に商品鮮度改善に向けた在庫コントロールの適正化、プロパー販売の強化に努めた結果、売上総利益率は前年同期比0.5%の改善となりました。また、継続的なコスト削減への取り組みなど営業費の削減にも努め、営業経費率は前年同期比で2.3%減となり営業利益、四半期純利益ともに増益となりました。

店舗の出退店におきましては、既存店舗の収益回復を優先し、新規出店は1店舗にとどめ、効率化を図るため不採算店舗を中心に35店舗を閉店するなど、店舗基盤の整備を更に進めた結果、当第2四半期末店舗数は540店舗となりました。

Q.2

今後の方針ならびに下半期の
施策についてお聞かせください。

この上半期は顧客満足を判断軸とした「商品供給」「販売体制」「店舗環境」の最適化と「顧客化」推進が機能したことに加え、「MD変革」を目的とした組織改編により、アパレル事業を中心に収益回復が進みました。このような好事例をこの下半期は雑貨事業に取り入れ、「インセンス商品部」を除く事業部と商品部を統合し「バラエティ・ライフスタイル事業部」を新設しました。この取り組みにより主力ブランドの「Siebelet」においては商品鮮度管理の徹底、適正在庫コントロールの強化を進め、ライフスタイル提案型ブランドの「illusie 300」「木糸土」「Hare no hi」においてはMDの再構築によりトップラインの向上に注力してまいります。いずれも各ブランドの独自性を保ちながら戦略商品の開発を共有し、スケールメリットによる収益回復を図る考えです。

アパレル事業におきましては、引き続き収益回復に向けた既存ブランドの再構築ならびに不採算店舗の閉店を進めており、この上半期は既存店売上高前年同期比が大きく伸長するなど一定の効果がみられました。下半期は諸施策の精度向上に加え、新規ブランドの育成にも注力し、来期出店に向けて準備を整えている状況です。

以上の諸施策を着実に遂行し、下半期におきましては、顧客満足に向けた構造改革にスピードを持って取り組み、通期における当期純利益の黒字化、そして永続的安定成長基盤の再構築に取り組んでまいります。

アパレル事業の概況

GENERAL CONDITION OF APPAREL BUSINESS

アパレル事業におきましては、新規ブランドを中心に1店舗の出店、ブランド転換については2店舗実施しており認知度向上に努めてまいりました。

新規ブランド開発の進捗状況については、今期オープンした「Lilou de chouchou(リルデシュシュ)」 「DAISY MERRY(デイズメリー)」を中心に進めており、この下半期には新たに「Ludic

Park(ルディックパーク)」 「9 SQUARE(ナインスクエア)」の2つのブランドが誕生します。

今後は地域特性、競合環境を加味し既存ブランドの再構築に加え、新規ブランドの出店拡大とともに早期の主力事業化を目指してまいります。

ギャルフィット



GAL FIT

「フェミニン&クール」をテーマに、リラックス感のあるカジュアルスタイルとエッジの効いたモードスタイルを提案します。

リシェリエ



Recherie

「フェミニン」をキーワードに、ベーシックでリラックス感のある大人のカジュアルスタイルを提案します。

スズタン



suzutan

「エレガンス&フェミニン」をテーマに、幅広い客層へ最新トレンドと着まわしのきくベーシックアイテムを提案します。

リジェイ・スプル



Re-J

「デイリー&リラックス」をテーマに、ベーシックアイテムとシーズントrendを程よくMIXした“大人カジュアル”を提案するラージサイズSHOPです。

SUPURE

「フェミニン&カジュアル」をテーマに、上品さと着心地を大切にラージサイズSHOPです。

リルデシュシュ(NEW)



Lilou de chouchou

いつまでもかわいく輝きたい女性に向けて、毎日のHAPPYを演出します。エレガンスをベースに程よくtrendを織り交ぜながらON&OFFあらゆるシーンも自分らしく楽しめる上品で女性らしいファッションを提案します。

デイズメリー(NEW)



DAISY MERRY

大人の心と少女の心を持ち合わせたいくつになってもかわいくオシャレでいたい女性に向けて…かわいだけでなく、どこかボーイッシュ、ほんのりガーリーと、遊び心を取り入れた今欲しいリアルクローズを手頃なプライスで提案します。

雑貨事業の概況

GENERAL CONDITION OF MISCELLANEOUS GOODS BUSINESS



雑貨事業におきましては、既存店舗の収益回復を目的にブランド転換を含めた改装を8店舗実施しました。

近年、ライフスタイル提案型ブランドの流れから各社出店拡大を続けており、競争が激しい環境となりました。当社においては、事業部、商品部の統合により展開する各ブランドの位置付けを明確にするとともに、独自の商品企画やライフスタイル提案を追求し、早期の統合

効果を図ってまいります。
またバッグ専門店の「INCENSE」におきましては、引き続き商品提案力と接客力を背景に、安定した収益確保に努めてまいります。

シーベレット



Siebelet

「毎日、楽しく」をテーマに、話題性あるファンシー雑貨と生活雑貨を提案します。

イルーシー300



illusie300

「日常に彩り」をテーマに、300円のプチブライズでライフスタイルを提案します。

インセンス



INCENSE

「MY BAGを探す楽しさや、見つけた時の喜びを共有できるBAG SHOP」自分のスタイルを確立した大人の男女に、「オンリーワン」のバッグを提案します。

木糸土・ハレノヒ



木糸土

木・糸・土の素材を活かし、「無理なく、無駄なく」をコンセプトに、シンプルで飽きのこない生活雑貨を提案します。

Hare no hi

「ナチュラルライフ」をテーマに、アパレル、雑貨をトータルにコーディネート、ライフスタイルを提案します。

アパレル事業ブランド別の状況				
	(単位:店舗)			
	出店	退店	ブランド転換	当第2四半期末店舗数
レギュラー事業部	1	23	2	292
ギャルフィットスズタン他	0	22	1	243
リシェリエ	0	0	0	27
ドスチ	0	1	△1	19
新規ブランド(※)	1	0	2	3
ラージサイズ事業部	0	1	0	47
アパレル事業合計	1	24	2	339

(※) 新規ブランドとは、「Lilou de chouchou」「DAISY MERRY」の2ブランドとなります。

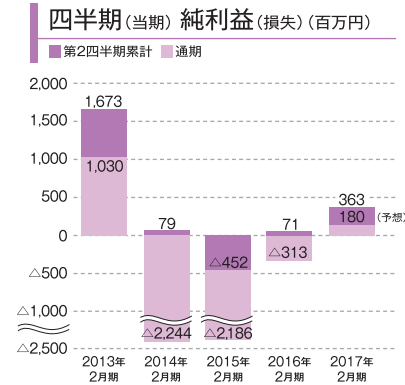
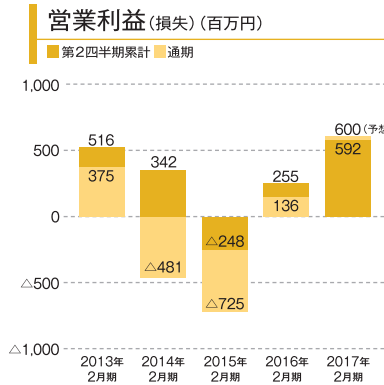
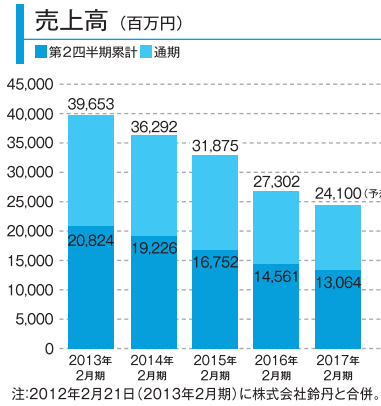
雑貨事業ブランド別の状況				
	(単位:店舗)			
	出店	退店	ブランド転換	当第2四半期末店舗数
シーベレット事業部	0	5	△1	83
イルーシー300	0	2	2	40
インセンス	0	1	0	31
木糸土・ハレノヒ	0	3	△1	28
雑貨事業合計	0	11	0	182
複合店(※)	0	0	△2	19
全社合計	1	35	0	540

(※) 複合店とは、アパレル事業、雑貨事業のブランドを複数合わせた店舗です。

四半期財務諸表 FINANCIAL STATEMENTS

四半期貸借対照表	(単位:百万円)		
	当第2四半期 会計期間末 (平成28年8月20日現在)	前第2四半期 会計期間末 (平成27年8月20日現在)	前事業年度 (平成28年2月20日現在)
■資産の部			
流動資産	5,300	5,347	4,581
固定資産	5,509	6,727	5,840
有形固定資産	578	886	571
無形固定資産	7	3	3
投資その他の資産	4,923	5,837	5,264
資産合計	10,810	12,074	10,421
■負債の部			
流動負債	6,211	6,200	5,102
固定負債	2,482	3,736	3,566
負債合計	8,693	9,937	8,668
■純資産の部			
株主資本	2,116	2,137	1,752
資本金	1,229	1,229	1,229
資本剰余金	1,104	1,104	1,104
利益剰余金	△215	△194	△578
自己株式	△2	△2	△2
純資産合計	2,116	2,137	1,752
負債及び純資産合計	10,810	12,074	10,421

四半期キャッシュ・フロー計算書	(単位:百万円)	
	当第2四半期累計期間 〔平成28年2月21日から 平成28年8月20日まで〕	前第2四半期累計期間 〔平成27年2月21日から 平成27年8月20日まで〕
④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	542	270
⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	404	384
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	△500
現金及び現金同等物の増減額	946	155
現金及び現金同等物の期首残高	592	256
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,538	411



POINT

- ① 売上高は130億64百万円となり、前第2四半期累計期間に比べて14億96百万円減少しました。主な要因は、不採算店舗閉店による店舗数の減少等によるものです。しかしながら、既存店売上高前年同期比については104.1%と好調に推移し、期初計画数値を上回る結果となりました。
- ② 営業利益は5億92百万円となり、前第2四半期累計期間に比べて3億37百万円増加しました。主な要因は、既存店舗の収益回復と不採算店舗閉店に伴う赤字額の削減及び営業費の低減に努めたことによるものです。
- ③ 四半期純利益は3億63百万円となり、前第2四半期累計期間に比べて2億92百万円増加しました。主な要因は、営業利益及び経常利益の増加と、前第2四半期累計期間と比べて減損損失が48百万円減少したことによるものです。
- ④ 営業活動によるキャッシュ・フローは、5億42百万円となりました。主な要因は、税引前四半期純利益5億8百万円の計上と、たな卸資産の減少等によるものです。
- ⑤ 投資活動によるキャッシュ・フローは、4億4百万円となりました。主な要因は、不採算店舗閉店等による差入保証金の回収等によるものです。

企業データ CORPORATE DATA

会社概要 (2016年8月20日現在)

社 名 株式会社 パレモ
設 立 1984年11月22日
資 本 金 12億2,925万円
本 社 所 在 地 〒492-8680 愛知県稲沢市天池五反田町1番地
事 業 所 パレモ東京 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町12番20号 日本橋T&Dビル4階
パレモ大阪事務所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5丁目7番19号 第7新大阪ビル 1階
従 業 員 数 2,791名 (ナショナル社員174名、エリア社員他2,617名)
事 業 内 容 レディースアパレル、バラエティ雑貨、バッグの専門店チェーン
ホ ー ム ペ ー ジ <http://www.palemo.co.jp/>

役員 (2016年8月20日現在)

代表取締役社長 吉 田 馨
常務取締役 永 井 隆 司
取締役 江 里 口 直
取締役 越 田 次 郎
取締役 永 田 昭 夫
常勤監査役 黛 龍 二
監査役 中 村 弘
監査役 今 枝 剛

注:取締役のうち、永田 昭夫氏は社外取締役であります。
監査役のうち、中村 弘、今枝 剛の両氏は社外監査役であります。

株式情報 (2016年8月20日現在)

発行可能株式総数	27,360,000株
発行済株式の総数	12,051,384株
単元株式数	100株
株主数	7,197名

大株主 (2016年8月20日現在)

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ユニグループ・ホールディングス株式会社	7,493	62.17
株式会社SBI証券	543	4.50
個人株主A	265	2.20
パレモ従業員持株会	218	1.80
株式会社三菱東京UFJ銀行	130	1.07
個人株主B	91	0.76
個人株主C	55	0.45
岩間商事株式会社	52	0.43
サンラirie株式会社	50	0.41
個人株主D	48	0.39

株主構成 (2016年8月20日現在)

